

第2号 (2020年9月1日発行)

.....  
<第2号 TOPICS>

1. 新任教授のご紹介

長坂安子 麻酔科学 教授・講座主任

古賀陽子 歯科口腔外科学（口腔顎顔面外科学分野） 教授

岡本俊宏 歯科口腔外科学（顎口腔外科学分野） 教授

若林秀隆 リハビリテーション科 教授

2. Web カンファレンスの実施について

3. 当院の新型コロナウイルス感染予防対策について

4. 外来診療予約方法（医療機関専用）について

5. 大学図書館の利用制限について

.....

★★

1. 新任教授のご紹介

長坂 安子 麻酔科学 教授・講座主任



令和2年4月1日に、東京女子医科大学麻酔科学講座 教授・講座主任に就任致しました長坂安子と申します。本学麻酔科学教室から派遣され10年以上米国での基礎と臨床の研鑽ののちに、聖路加国際病院を経てこの度皆様のご支援を受け、愛する女子医大病院に帰還致しました。日米の診療の良いところを結集し、誠心誠意 診療・教育・研究に尽力する所存でございます。

麻酔科学の診療は全診療科にまたがります。仕事は心臓麻酔や一般外科など手術室の麻酔だけでなく、集中治療室、ペインクリニック、無痛分娩をはじめとする産科病棟での麻酔、緩和医療、鎮静、院内急変時の救命など多岐にわたるのが特長です。

女子医大の麻酔科に赴任し感じましたのは、良い診療体制の3つの特徴（豊富な症例数、志高い職員、そして教育の体制）が全て揃っていることでした。優秀な外科医たちがメスを振るう中央、西そして最新鋭のMRIを搭載したハイパスコット手術室では、多くの合併症を抱える患者さんに昼夜を分かたず最も美しい手術

が施されています。術後は病棟あるいは集中治療室で優しさ溢れる看護師や医療スタッフが患者ファーストの一心で診療して下さる。そして何よりも、各科が連携する院内の雰囲気かとみに活発であることが嬉しい発見でした。恵まれた環境を与えられ、ますます地域の患者さんと病院・大学のために尽力する所存です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

麻酔科の詳細はこちら → <http://www.twmu.anes.jp/>

## 古賀 陽子 歯科口腔外科学講座（口腔顎顔面外科学分野） 教授



2020年4月より歯科口腔外科学講座教授を拝命致しました。平素より患者様をご紹介いただき深謝申し上げます。本年度より当講座を2分野に分け、岡本俊宏教授と各々の専門性を生かし、質の高い医療を提供できるよう新体制で行っていくこととなりました。

当科では歯、口、顎骨疾患の診断と治療を行っています。智歯抜歯、有病者の抜歯、デンタルインプラント、歯が原因の炎症（蜂窩織炎など）、歯根や顎骨のう胞、良性や悪性腫瘍、顎変形症、外傷（顎骨骨折など）、顎関節症など口腔外科全般の診断と治療を口腔外科専門医・指導医が丁寧に対応しております。超高齢化社会において“食べること”は生命維持に直結し、有病者歯科の在り方もパラダイムシフトの時代を迎えています。当科ではそのような時代に柔軟に対応すべく精進していく所存です。逆紹介を含め、円滑な医療連携に努めて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 岡本 俊宏 歯科口腔外科学講座（顎口腔外科学分野） 教授



2020年4月1日付にて歯科口腔外科学講座の教授を拝命いたしました。口腔外科領域では、難易度の高い抜歯、歯の破折・脱臼・顎の骨折などの外傷、歯を原因とする炎症、顎骨嚢胞、口腔良性腫瘍、口腔がん、口腔粘膜疾患、顎関節疾患など、多岐にわたる疾患の治療を行っています。歯科領域ではインプラント治療、全身疾患を有する患者様の抜歯なども行なっています。また、骨粗鬆症やがん治療に

使われる骨吸収抑制薬や血管新生阻害剤などの薬剤がもたらす顎骨壊死が増加しているなか、これらの薬剤の開始前に口腔管理を行うことで顎骨壊死の予防につながると考えています。口腔がんも近年増加傾向にあり、当科で立ち上げた画像連携システムを通じ、地域の先生方と協力して口腔がんの早期発見、早期治療に尽力したいと思っています。今後も引き続き医療連携に積極的に取り組む所存です。皆様のご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

歯科口腔外科の詳細はこちら → <http://www.twmu.ac.jp/DENT/>

若林 秀隆 リハビリテーション科 教授



2020年6月にリハビリテーション科教授を拝命しました。東京女子医科大学病院では主に他科入院患者のリハビリテーションを行っています。疾患別では脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、心大血管疾患のリハビリテーションが多いですが、生活機能が低下したすべての患者・疾患を対象としています。私の専門領域は、リハビリテーション栄養、サルコペニア、フレイル、悪液質、摂食嚥下障害です。低栄養やサルコペニア、摂食嚥下障害を認める入院患者に対して、栄養サポートチームと連携しながらのリハビリテーションの質を高めていきたいと考えています。外来患者のリハビリテーション科受診を希望される場合は、主疾患の関連科（整形外科、脳神経内科など）を受診されたのち、関連科からリハビリテーション科へ依頼される流れとなっています。外来患者の場合、直接リハビリテーション科への受診ができません。ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション科の詳細はこちら → <http://www.twmu.ac.jp/reha/>

## 2. Web カンファレンスの実施について

### ～地域と病院をつなぐ Web カンファレンスの紹介～

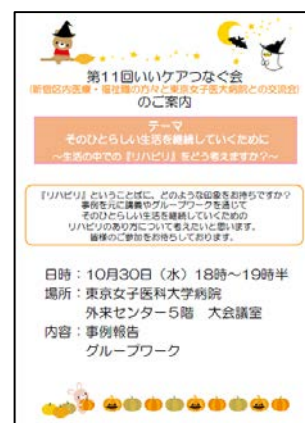


医療連携・入退院支援部

入退院支援室 入退院支援専任看護師 内田邦子

当院は2019年に地域と病院をつなぐ役割を担う医療連携・入退院支援部が発足し、その中の1

つに入退院支援室があります。入退院支援室では、入院予定の患者さんに入院前オリエンテーションや術前準備等の入院支援を行っています。また、入院早期から退院後の生活を見据えて患者さんが望む生活に移行することができるよう地域の医療機関との連携を行っています。その中で大切にしていることは、密に地域と情報共有をすることです。例えば、入院中の医療処置や生活上の注意、体調不良時の緊急連絡先等を患者さんや家族をはじめ、病棟の医師や看護師と地域の訪問診療の医師や訪問看護師、ケアマネジャーに来院してもらい、カンファレンスを行ってきました。また、地域と病院をつなぐ「いいケアつなぐ会」(右図)を毎年開催し、昨年は100名程の新宿区の医療福祉関係者の方々との交流会を行いました。



しかし、昨今の新型コロナ肺炎ウイルス感染対策によって対面でのカンファレンスが出来ない状況になっています。そこで、当院ではオンラインで地域と病院をつなぐWebカンファレンスを開始しました。直近の協議内容は、新型コロナ肺炎ウイルス感染による地域の状況や、感染対策における地域連携の課題やニーズ等についてです。地域からは当院へ電話がつながりにくいというご意見や、感染症疑いの患者さんへの診療状況を知りたい等の生の声をいただきます。

当院からは診療科の相談医に直接電話をつなぐことができるダイヤルイン<sup>※1</sup>を紹介し、外来での感染トリアージの状況や診療体制について情報共有をしています。Webカンファレンスは、対面による感染リスクの予防を踏まえた新しい地域連携のカタチとして、互いの課題やニーズへの解決の場になっています。ある訪問診療医は次の訪問先に移動する車の中からタブレットでカンファレンスに参加してくれました。また、従来1時間程度かかっていたカンファレンスが、毎回30分程度で終了でき、凝縮された濃密なディスカッションができるようになり、時間の効率化という副次的効果も生まれています。当院は新宿区のみに限らず他県からの患者さんも多く通院されています。これまで遠方で来院が難しかった他県の医療福祉関係者ともカンファレンスを開催することが可能になると考えます。



部署内ではスタッフ間の感染予防のためシールドを設置しています。

しかし、まだ課題は残っています。現在は、患者さんの個人情報扱わない「地域と病院の連携協議」として開催していますが、今後は、個々のケースにおいてもWebの活用の検討をする必要があると思っています。確実な個人情報保護というルールを策定し、病院全体と地域で患者さんも含めた安全なWebカンファレンスの開催を目指したいと思っています。コロナ禍においても新たなカタチで、どこにいても顔が見える連携をつくることができ、患者さんが病気になっても自分らしい生活を取り戻すことができるように地域と病院をつなぐ地域連携に更に取り組んでいきます。



### 3. 当院の新型コロナウイルス感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症が全国的に流行している中、当院では、感染症対策専門チームが発足し、入院前、手術実施前の患者さんに必ず PCR 検査を受けていただくなど、患者さんが安心して治療に専念出来る体制の構築に病院の総力をあげて取り組んでいます。

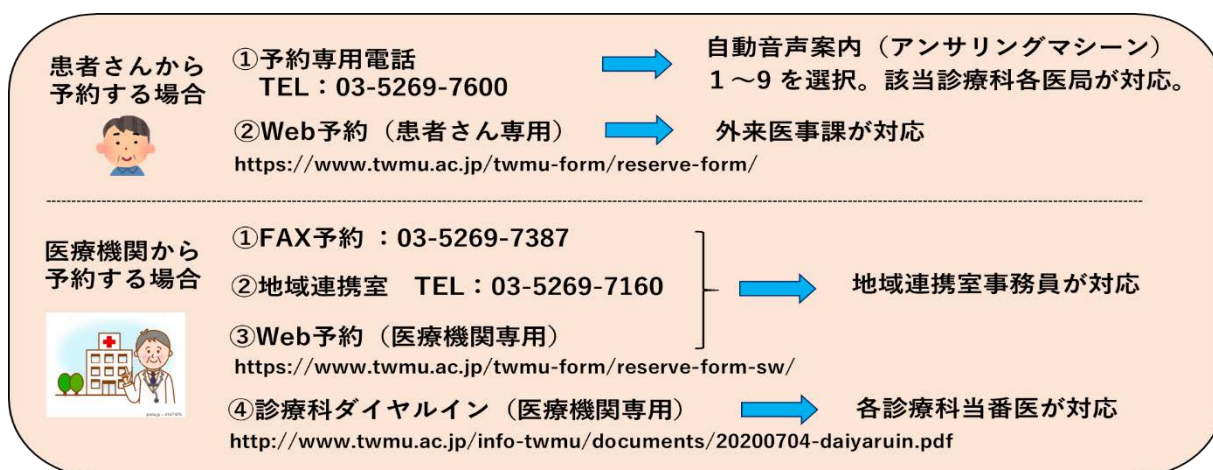
入院、手術ともに制限すること無く受け入れておりますので、  
安心してご紹介いただければ幸いです。

### 4. 患者さんのご紹介・診療予約について（医療機関専用）

医療機関の先生方からのご紹介・診療予約につきましては、下図の方法でお受けさせていただいております。なお、直通電話（03-5269-7160）は電話集中により、大変つながりにくい状況になっております。大変ご迷惑をおかけしておりますが、診療希望日に時間的に余裕がある場合は、FAX または予約フォーム（Web 予約）をご活用いただければ幸いです。お急ぎでの予約をご希望の場合は、直通電話または各診療科ダイヤルイン（下記 URL 参照）へご連絡ください。

また、専門外来など各診療科で連絡窓口を設置している場合もあり、各診療科のホームページ（下記 URL 参照）もあわせてご参照いただければ幸いです。なお、患者さん・ご家族が直接予約をされる場合は、患者さん専用の予約番号へおかけいただけるようご案内いただければ幸いです。大変お手数をおかけしまして誠に申し訳ありませんが、何卒宜しくお願いいたします。

#### 診療予約システム



患者さん専用予約システムの変更についてはこちらもご参照ください。↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/documents/yoyaku-20200808.pdf>

診療科ダイヤルイン一覧はこちら ↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/documents/20200704-daiyaruin.pdf>

Web での予約申し込みはこちらから ↓

<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form-sw/>

各診療科のホームページはこちら ↓ ※部門 HP をクリック

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/shinryo.html>

## 5. 大学図書館の利用制限について

連携登録医の先生方には、ご登録の際、大学図書館のご利用についてご案内をさせていただいておりますが、現在、新型コロナウイルス感染予防のため、外部の方の利用を制限させていただいております。誠に恐れ入りますが、連携登録医の先生方には、ご利用いただけない状況になっております。誠に恐れ入りますが、利用制限が解除になり次第、改めてご案内させていただきますので、ご理解・ご協力のほど何卒宜しくお願いいたします。

大学図書館の詳細はこちら → <http://www.twmu.ac.jp/library/>

★★

外来診療担当表はこちら（2020年9月現在）

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/shinryo.html>

Webでの予約申し込みはこちらから ↓

<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form-sw/>

FAX診療申込書はこちらをご使用ください。 ↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/SW/images/image-sw/pdf/fax-sindanmousikomi.pdf>

最後までお読みいただきありがとうございました。

※このメールマガジンの配信を希望されない場合は、お手数ですが下記地域連携室メールマガジン専用アドレスまでご連絡をお願いいたします。またご意見・ご要望などございましたら、あわせてご連絡いただければ幸いです。地域連携室メールマガジン専用アドレス：[chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp](mailto:chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp)

※当メールマガジンの全文（添付ファイル含む）又は一部の無断転載および再配布・再配信を禁じます。

★★

東京女子医科大学病院

医療連携・入退院支援部 地域連携室

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

TEL：03-5269-7160（直通）

FAX：03-5269-7387（直通）

Mail：[chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp](mailto:chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp)（メールマガジン専用）

※ご意見・ご要望などはこちらからお願いいたします。

URL：<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/index.html>

★患者様のご紹介はFAX・Webからも受付ています。

ぜひご利用ください。

★★